

『脱原発の哲学』合評会  
2017年5月18日（木）18:15～20:30  
筑波大学人文社会学系棟 A101

2016年に刊行され、『朝日新聞』『ル・モンド』紙にも取り上げられた、科学、技術、政治、経済、歴史、環境などあらゆる角度から「脱原発」を論じる話題の哲学書をめぐって、討議を行います。



コメント：五十嵐泰正（筑波大学人文社会学系）、本間信和（筑波大学大学院）

早尾貴紀（東京経済大学、311 受入全国協議会）

著者からの応答：佐藤嘉幸（筑波大学人文社会学系）、田口卓臣（宇都宮大学）

司会・問合せ：木村周平（筑波大学人文社会学系 shuheikimura@gmail.com）

主催：科研費基盤研究 C「啓蒙期から現代に至るカタストロフィの思想と表象に関する総合的研究」

共催：筑波大学人文社会学国際比較研究機構（ICR）